

## 4×5inch シートフィルムの撮影と現像

### 1. 撮影（文化センター付近、親水公園）

暗室で安全光も消して真っ暗な状態にしてからカメラにシートフィルムを表と裏を間違えないように装填します。シートフィルムの表と裏はコードノッチの位置により確認します。撮影場所に行ったら被写体にカメラを向け、画角（上下方向・左右方向）を確認し、露光時間を決めシャッターを開けます。紙製のピンホールカメラは軽いので、風があるときには、カメラが撮影中に動かないように工夫してくだ

さい。  
今回使用のカメラ（F = 200、画角：水平方向 120° 垂直方向 90°）では、露光時間は下表のような目安となります。

（露光時間が不明な場合は、スタッフが巡回しておりますので、お尋ね下さい）

天候	晴れ		曇り		雨
明るさ	日当	日陰	明るい感じ	暗い感じ	かなり暗い感じ
露光時間	2秒	4秒	4秒～8秒	8秒～16秒	16秒から32秒

### 2. ネガ現像（暗室）

暗室には一度に2名が入り、現像作業を行います。現像時間は20、5分程度（薬品により異なります）となっています。

暗室の安全光も消し、真っ暗にしてからカメラからシートフィルムを取り出します。

シートフィルムの角をクリップではさみ、シートフィルムの表を下にして現像液に入れます。10秒程度したら、裏返し表を上に戻します。特に最初の30秒位は現像ムラになりやすいので注意が必要です。動かしながら現像してください。現像時間は、20で5分程度です。時間になったら現像を止めて停止液に移します。

停止液では、現像液を洗い落とすようにしながら15秒程度浸します。停止液は、現像が進むのを停止する働きをします（酢酸などを使って現像液を中和します）。

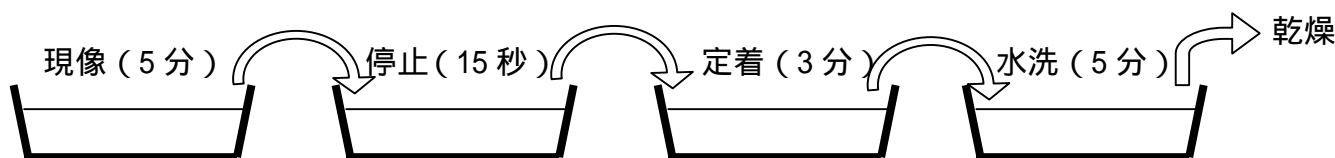
次に、定着液に移します。定着液に移して30秒位したら普通の光を当てても大丈夫です。ただし、定着液には3～5分くらい浸けておいてください。定着が不十分だと後で変色することがあります。

2人とも定着液に入れたら、次の方と交替します。ネガは次の方が終わるまで、そのまま定着液に入れておきます。

定着が終わったらネガを小さいバット（容器）に入れ、暗室の外の流しで水洗を行います。水洗は5～10分程度流水で行ってください。

水洗の終わったネガは、ドライウェルに浸した後吊り下げて乾燥させます。10～20分程度したらドライヤーを使って乾燥させます。完全に乾いたらネガの完成です。

乾燥後のネガはネガ袋に入れて保存します。



### 3. コンタクトプリント（暗室）

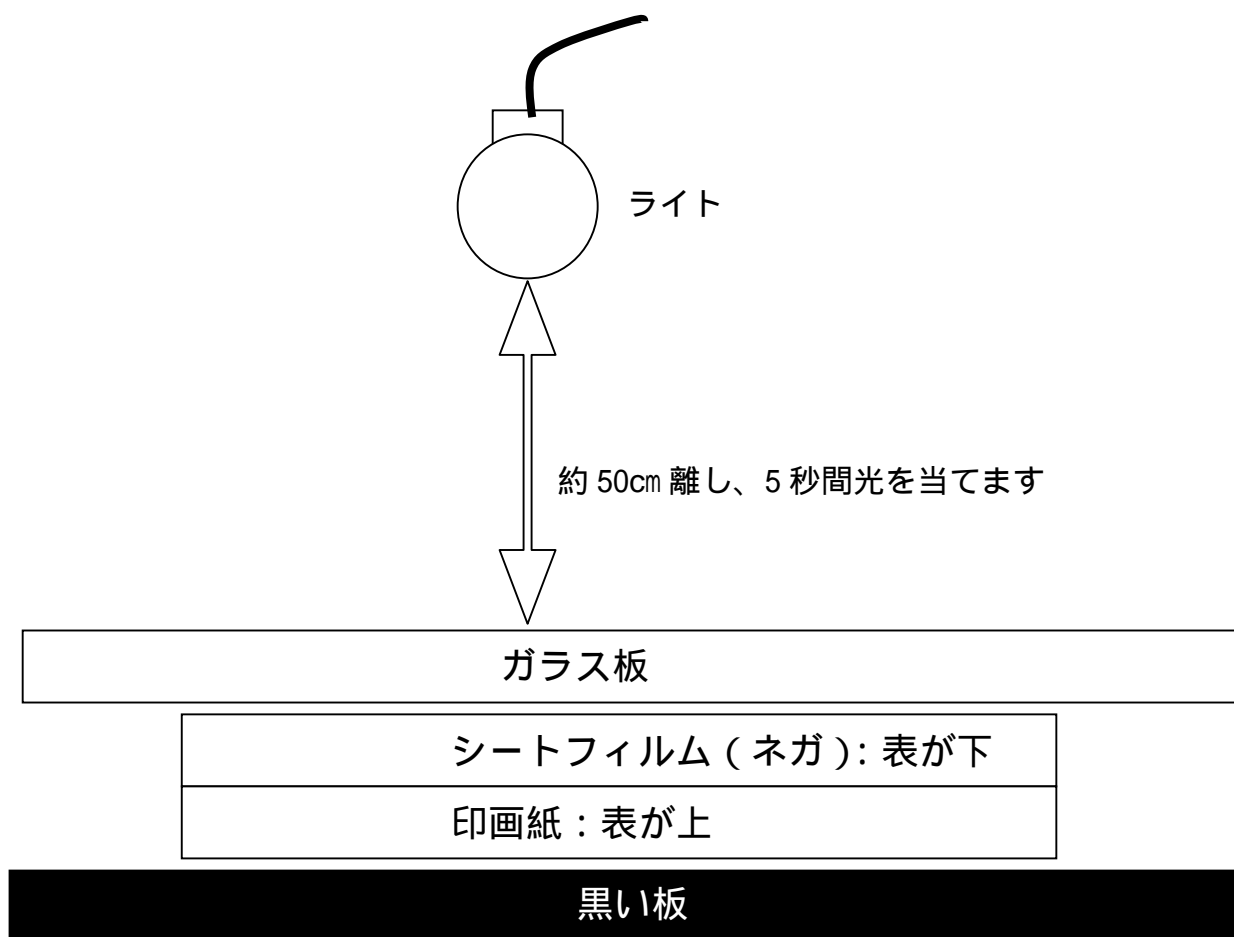
現像してできたネガを反転させてポジ（普通の写真）を作ります。手順は次のとおりです。

コンタクトプリンターに、印画紙の表（ツルツルした面）を上にして置きます。

その上に、シートフィルム（ネガ）の表を下にして重ねます。

さらに、印画紙が密着するようにガラス板でおさえます。

光源はライト（白色電球）または引伸ばし機を使い、印画紙から50cm位上から光を当て露光します。露光時間は、ネガの濃度によりますが、40Wの電球の場合5秒程度です。引伸ばし機を使用する場合は、絞りを調節して5秒程度の露光になるようにこちらで調節します。



### 4. ポジ現像（暗室）

◇ 手順は、ネガ現像のときと同じで、現像 停止 定着 水洗 乾燥の順です。